

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積 (ha)
水稲	10
キャベツ	7
その他	3
計	20

- ・ 作付面積は秋肥・春肥の面積を統合して記入
- ・ 面積上位の2品目を記載し、残りは「その他」にまとめて記入

氏名(法人・組織名)

住所

電話番号

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等)		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等を含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		
総取組面積	20ha	20ha

- ・ 実際に取り組んだ項目に○を記入。(低減計画書と同じ欄に○が付きます)
- ・ 最低2つ以上記載してください。
- ・ 併せて、取り組みの証拠書類について

- ・ 低減計画書と同様に右側にも2つ以上の○を記載し、最低1つは新規もしくは◎となるようにしてください。(今後の取組については、証拠書類の